



社協更木だより

第4号
平成11年3月15日発行
編集・発行
各務原市社会福祉協議会
更木支部編集委員会

平成10年度、支部社協の活動を顧みて、地域住民の皆さんが住みよい社会を目指し、自主的に福祉活動への参加ができるよう結成された支部社協の活動が果たして、出来た幸いにして、市社会福祉協議会のご指導と役員の方々をはじめ地域住民の皆様方の支

十月二日、稲羽西福祉センターにおいて「地域介護講習会」を開きました。当日は、近隣ケアの方をはじめ約四十名の方が参加。参加者の内訳を見ると、八十七パーセントが女性の方でした。介護者の方の八割以上が女性という現状において、更木地区においても女性の介護に対する関心の高さがわかります。

今年のテーマは「痴呆のお年寄りの生活を考える」。痴呆のお年寄りを抱えた家族を描いたビデオを見ながら、家族はどう接したらいいのか、

“説得より納得で”痴呆のお年寄りの介護について考える
地域介護講習会



▲熱心に話を聞く参加者

とだらうと思われます。高齢化が進むということは、多かれ少なかれ介護を必要とするお年寄りが、多くなることが予測されます。また、その他色々な介護が必要とされる方々にとっても、充実した住みよい社会にするためには、支部社協の役割がますます多くなることと思われます。

そして、平成十二年四月から『公的介護保険制度』が開始されることになりました。今後とも、一層のご支援をお願い申しあげますとともに、支部にご協力いただきたいと思います。今後とも、一層のご支援をお願い申しあげますとともに、支部にご協力いただきたいと思います。方々に感謝申しあげ、お礼の言葉とさせていただきます。

また、痴呆をどう理解したらいいのかなどについて話し合いました。参加者からは、「単なる物忘れと痴呆の違いがわかった」、「相手を受け入れる気持ちが大事」、「介護する側は、全部背負い込まないで、家族の協力を得ること。そして、サービスを利用することにより、介護者が自身が心身ともに豊かにいることが大切」などの感想が聞かれました。

平成10年度 社協会員募集実績表

自治会名	一般会員数	一般会費額	特別会員数	特別会費額	会員数合計	会費額合計
大野町	193	¥96,500	2	¥2,000	195	¥98,500
小佐野町第1	93	¥46,500	3	¥3,000	96	¥49,500
小佐野町第2	76	¥38,000	1	¥1,000	77	¥39,000
小佐野町第3	102	¥51,000	1	¥1,000	103	¥52,000
三井町第1	85	¥42,500	7	¥7,000	92	¥49,500
三井町第2	132	¥66,000	2	¥2,000	134	¥68,000
三井東町	75	¥37,500	9	¥11,000	84	¥48,500
三井北町第1	88	¥44,000	9	¥9,000	97	¥53,000
三井北町第2	71	¥35,500	16	¥16,000	87	¥51,500
三井北町第3	81	¥40,500	6	¥6,000	87	¥46,500
三井山	29	¥14,500			29	¥14,500
更木支部合計	1,025	¥512,500	56	¥58,000	1,081	¥570,500

この会費は四十%が支部交付金として還元され、支部活動の財源となっています。市社会福祉協議会の会員募集が、本年八月に自治会を通じて行なわれました。多くの皆様にご協力をいただきありがとうございました。この理解をいただき、来年度以降もご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社協会員募集結果報告

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
・事業報告と決算報告 ・社協更木支部だより発行 ・寝たきり老人友愛訪問 ・老人クラブ新年互例会協賛 ・期間中活動についての反省 ／役員会	・更木地区戦没者慰靈祭 ・年末防犯・防火活動に協力 ・町内設置の消火器点検 ・市民清掃境川草刈り ・三井山登山道・山頂の草刈 ・町内可燃物置場の清掃・消 毒 ・敬老の集いと援助参加 ・三世代ふれあい活動 ・夏休み子供ふれあい映画会 ・け け ・市民清掃境川草刈り ・三井山登山道の草刈り及び 清掃（中学生参加） ・高齢者健康づくり教室 ・市内一斉清掃 ・寝たきり老人友愛訪問 ・稻西校区クロッケ大会 ・不燃物の分別徹底 ・日赤社資募集 ・青少年育成会議 ・近隣ケアグループの懇談会 ・町内排水路清掃	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

平成10年度 社協更木支部収支決算報告(見込)

◎収入の部

区分	予算額	備考
繰越金	159,282	前年度繰越金
社協交付金	228,000	会費の40%還付
預金利息	137	
市社協助成金	8,000	福祉映画助成金
計	395,419	

◎支出の部

区分	予算額	備考
共通実施事業	57,844	
福祉教育事業	46,032	福祉映画会・三世代ふれあい広場・介護講習会・社会福祉懇談会・近隣ケア
友愛訪問事業	10,458	ねたきり老人・独居老人友愛訪問
支部育成事業	1,354	役員会等
メニュー事業	26,000	
生活環境事業	26,000	各町内子ども会空缶拾い
支部だより	0	更木支部だより発行
その他の事業	138,000	
健康体育事業	66,000	稲羽西校区クロッケ大会・市民運動会・各町内スポーツクラブ
ふれあい事業	72,000	各町内コミュニティ会議・子ども会・遺族会・盆踊り・千日祭り
会議費	0	
事務費	1,000	領収書・ボールペン
計	222,844	

平成10年度社会福祉協議会更木支部発展の為御協力戴きました役員の方々は次の通りです。

平成10年度 更木支部役員

支部長	副支部長	会計	福祉推進員	理事	評議員	監事
雄一海昭義夫	宮敬廣俊久	藤田多和	神本多間永	田崎宮途野	藤田合	栗佐尾
男治史	郁哲修	和田宮繩屋	永伏辻	小石	小岩坪	巖太宮
実治代	博明	内原井	内井	野井内	巖太宮	間和神
峯子臣枝子	さ外一	田崎宮途野	和田	藤田	栗佐尾	雄二
昭義夫	和智美	藤田	多間永	和田	栗佐尾	栗佐尾
男	恵典元	宮	永伏辻	宮	和田	和田



社協更木だより

第5号
平成12年3月31日発行
編集・発行
各務原市社会福祉協議会
更木支部編集委員会

昨年四月から強いご推举をうけて未熟な私に、社協更木支部長をおおせつかり、何事にも不慣れなうちに早や一ヵ年経ちました。幸いにも無事に平成十一年度の任務を不充分ながらでも務められたのは、ひとえに支部役員各位の暖かいご指導と格別なるご尽力の賜ものと心より感謝申し上げます。

さて、正に直前にせまつた「公的介護保険制度」は、ご存知の如く玉虫色の不透明な項目や今なお猫の目の如くクルクル変わる程の内容では、皆様に深いご理解とご納得し



7月15日

地域介護講習会を開催

卷之三

副支部長 岩井周治

更木支部の地域介護講習会を七月十五日、稲羽西福祉センターで開催しました。約八十人が参加し、十二年四月からスタートする介護保険の仕組みなどを学びました。

在宅介護支援センター職員が『在宅福祉サービスをうまく利用するために』というテーマで、市の高齢化、福祉サービスの現状などを紹介し、統いて、市介護保険準備室からは、ビデオを使って介護保険制度の内容について、説明を受けて色々勉強しました。

各務原市の介護保険認定状況

①申請件数	1,777名
②認定状況	
自立	87名
要支援	130名
要介護1	296名
要介護2	241名
要介護3	173名
要介護4	159名
要介護5	133名
合計	1,219名
	} 在宅 954名
③居宅サービス計画届出件数	457件 (届出率47.9%)



平成11年度社協会員募集実績表

自治会名	自治会加入世帯数	一般会員数	一般会費額	特別会員数	特別会費額	会員加入率	会費額合計
大野町	214	193	¥96,500	1	¥1,000	90.7	¥97,500
小佐野町第1	105	98	¥49,000	2	¥2,000	95.2	¥51,000
小佐野町第2	78	76	¥38,000	1	¥1,000	98.7	¥39,000
小佐野町第3	112	108	¥54,000	1	¥1,000	97.3	¥55,000
三井町第1	93	87	¥43,500	6	¥6,000	100.0	¥49,500
三井町第2	126	133	¥66,500	3	¥3,000	107.9	¥69,500
三井東町	96	74	¥37,000	9	¥11,000	86.5	¥48,000
三井北町第1	98	90	¥45,000	7	¥7,000	99.0	¥52,000
三井北町第2	132	80	¥40,000	15	¥15,000	72.0	¥55,000
三井北町第3	143	72	¥36,000	5	¥5,000	53.8	¥41,000
三井山	287	41	¥20,500			14.3	¥20,400
更木支部合計	1,484	1,052	¥526,000	50	¥52,000	74.3	¥578,000

平成11年度社協・更木支部事業主活動

- | | | |
|---|------------|----------------------|
| ① | 平成11年6月19日 | 更木支部・平11年度始め役員会 |
| ② | 7月15日 | 地域介護講習会（社協） |
| ③ | 8月1日 | 社協会費募集 |
| ④ | 8月19日 | ふれあい映画会 |
| ⑤ | 10月1日 | 赤い羽根共同募金 |
| ⑥ | 11月11日 | 介護保険制度説明会（市役所・高齢福祉課） |
| ⑦ | 平成12年2月11日 | 更木支部・平11年度末役員会 |

平成11年度社協更木支部会計簿

(仮決算)平成12年2月末日

- 太田さだ子様は昭和47年7月1日～平成11年11月30日まで民生児童委員を努めていただき、長くお世話になりました。(平成12年1月に病にて御逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。)

- 平成11年12月1日から三井東町4-104の中村篤子さん(82-3231)が引き受けていただけてます。よろしくお願ひします。

欠かせぬ“自立”支援 サービス給付なし寝たきり防ぐケアを		
要介護度	心身の状態例 (1日に必要な介護推計時間)	サービス利用限度額
要支援	日常生活を送る能力は基本的にはあるが、入浴、衣類着脱など一部で手助けが必要(25-30分またはリハビリなどに10分)	月 6万円
要介護 1	立ち上がったり、歩行が不安定。入浴や排せつなどで介助が必要(30-50分未満)	月 17万円
要介護 2	一人で立ち上がったり歩いたりできないことが多い、入浴や排せつなどに介助が必要。物忘れなども(50-70分未満)	月 20万円
要介護 3	自力で立ち上がったり、歩いたりできない。入浴、衣服着脱には全介助が必要。物忘れや昼夜逆転なども(70-90分未満)	月 26万円
要介護 4	日常生活を送る能力が低下。寝たきり状態が多くなり、全面介護が必要。昼夜逆転(はいかいも)(90-110分未満)	月 31万円
要介護 5	寝たきりで意志伝達も困難に。生活全般にわたって介護が必要。痴ほう症状も深刻に(110分以上)	月 35万円

平成11年度社協更木支部役員名簿

役職名									
支部長									
副支部長									
神	上	土	小石原	岩	五	岩	太	進	太
野	村	井	明	井	島	井	田	藤	田
廣	博	登	喜	隆	幸	豊	年	宮	久
海	道	喜	雄	寛	則	年	雄	さだ子	義
	"	監	"	"	"	"	"	"	"
	事	"	"	"	"	"	"	"	"
大	高	戸	河	奥	水	武	間	神	岩
西	井	田	島	村	野	藤	宮	野	井
浩	鼎	富	衆	一	美	一	智	喬	杉
司	治	江	子	子	幸	枝	恵子	峯	山

あとがき

- ・各町内で少人数の会合であったり、届け出や申請するのに戸惑われた行事でもその都度早目に支部長へ連絡して下さい。次年度への事業や計画等をたてる場合に今年度の実績にして次年度から少しでも申請して助成金等を受けたい。
 - ・4月より介護保険制度が始まりますので「福祉座談会」「高齢者健康づくり教室」「社協だより等の印刷」等支部会員である皆さんのご支援及びご協力を積極的に平成12年度からはよろしくお願ひします。

更木支部長 三 和 敏 夫

さらに充実 近隣ケアや公民館を利用したサロンづくり

更木支部では、今年度は特に地域の各町内において、みんなのより身近な公民館などでのボランティアの方々のたすけあいの心によって、次に紹介するようなさまざまな事業を展開いたしました。

とくに四月からは介護保険制度がはじまることがあって、高齢者の介護の問題がより私たちの身近な問題、切実な問題としてきているのではないでしょか。そんな昨今において、

介護の必要性うんぬんだけではなく、日ごろから気軽に声をかけあったり、気軽に公民館などに寄って、コミュニケーションを深めていくことは、大変重要なことではないでしょうか。こんなとき、地域に心のよりどころとなる拠点づくりや人づくりを徐々ではありますが、更木支部内ではボランティアさんが中心となって芽生えつつあるようです。

ぜひご協力を願います。

**8月
22日**

三世代ふれあいクロッケーゴルフ

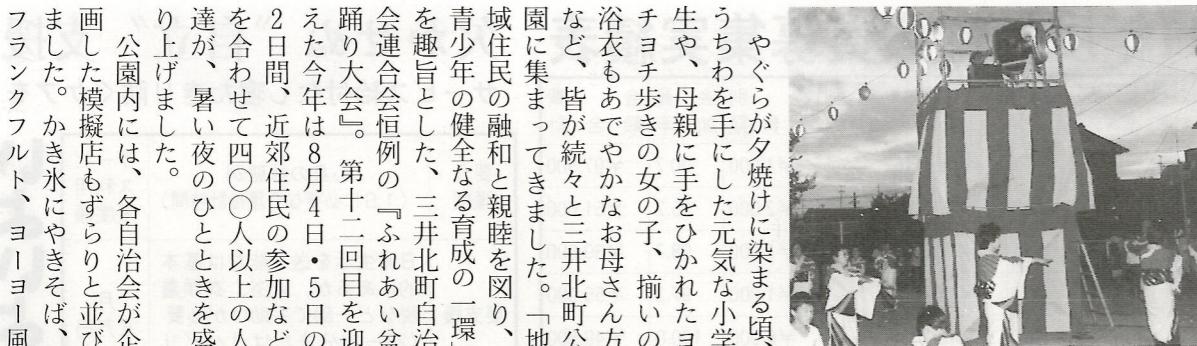
自治会長 大西 浩司



**8月
4・5日**

三井北町『ふれあい盆踊り』

三井北町第2自治会長 高井 鼎治



毎月第2・4水曜日
みんなであそぼまい会
小佐野町第一自治会(有志の会)
民生委員 太田 一朗

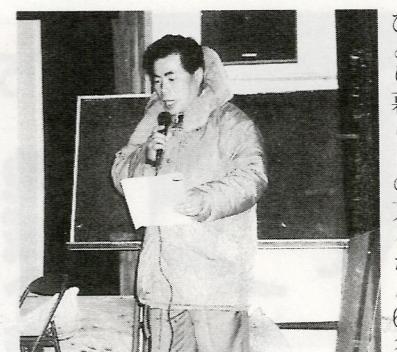


町内の有識者、近隣ケアグループ、老人クラブ、各グループ、等の皆様にお集まりを頂き、「高齢者の福祉、町内の友愛」を目的とした憩う場を、コミュニティ集会場で開設しました。(世話人・太田一朗 民生委員)



日時 每月第2・4の水曜日 午前9時より午後4時まで (いつでも自由な時間にきてください) 場所 第一自治会 コミュニティ集会場 日本は先進国の中でも最も高齢化社会になつてしましました。このことは喜ばしいことと共に国政に大きな課題を投げかけています。私や、私達の今の「生きがい」

わたしたちのまちのこの一年 福祉活動をふりかえって



十一月二日(火)に稻羽西福祉センター集会室で、実りの秋にちなんだ行事として、「みんなでおはぎを食べる」おはぎの会を高齢者の方やひとり暮らしの方々など60名

**11月
2日**

おはぎの会

小佐野町あじさいの会 代表間宮一枝

の参加を得て、盛大に開催しました。当日は、紙芝居や映画のほか、三和更木支部長さんの南極越冬隊の体験の講演も企画し、盛会のうちに幕を閉じました。

「これからのかの介護」 三井町近隣ケアグループ『あんずの会』

代表 武藤 美幸



をどのように考え、どのようにして暮らしを作っていくたらよいのか痛切におもう事が色々と頭に浮かんで参ります。そこで一案ではありますけれども、皆さんのご協力によって立派に建てられました集会場を高齢者の皆さんに大いに使って顶くようになります。現在、福祉行政においてはいろいろと組織が建てられて立派に活動がなされていますが、生き生きと暮らせるお手伝いが少しでもできますよう頑張ってまいります。

「老化は、無関心から始まる」のだそうです。地域との関わり、より多くの人々と関わって生涯青春の心で一生を過ごせたら、なんてステキでしょうか。一人でも多くの方が、生き生きと暮らせるお手伝いが少しでもできますよう頑張ってまいります。

このようにして暮らしを作っていくには、生き生きと暮らせるお手伝いが少しでもできますよう頑張ってまいります。

「老化は、無関心から始まる」のだそうです。地域との関わり、より多くの人々と関わって生涯青春の心で一生を過ごせたら、なんてステキですか。一人でも多くの方が、生き生きと暮らせるお手伝いが少しでもできますよう頑張ってまいります。



このことは喜ばしいことと共に国政に大きな課題を投げかけています。私や、私達の今の「生きがい」としていまいます。

このことは喜ばしいことと共に国政に大きな課題を投げかけています。私や、私達の今の「生きがい」としていまいます。

このことは喜ばしいことと共に国政に大きな課題を投げかけています。私や、私達の今の「生きがい」としていまいます。

このことは喜ばしいことと共に国政に大きな課題を投げかけています。私や、私達の今の「生きがい」としていまいます。